

映画大国インドの新たな才能。
笑い涙が詰まった“おいしい”大ヒット映画！



スタンリーの お弁当箱

いつもみんなを笑わせてくれるクラスの人気者・スタンリー。しかし、彼は家庭の事情でお弁当を持てることができない。昼食の時間はいつも一人ぼっち。水道の水を飲んでしのいでいる。そんな彼を助けようと、クラスの友達はお弁当を分けてあげるが、食い意地の張った先生に見つかり、取り上げられてしまう。その上「もう学校に来なくていい」とまで言われてスタンリーは落ち込み、学校に来なくなる…

© 2012 FOX STAR STUDIOS INDIA PRIVATE LIMITED. ALL RIGHTS RESERVED.

近年ではハリウッドならぬ「ボリウッド」という言葉も囁かれるようになり、人気を博しているインド映画。

今回ICCが上映する『スタンリーのお弁当箱』は、学校のランチタイムを舞台に繰り上げられる、子どもたちの友情や先生との対立を描いた作品です。とびきりかわいい子どもたちやおいしそうなお弁当、そしてその裏に込められたメッセージにきっと心も胃袋もつかまれるはず…。

上映後は、東京国際映画祭アジア部門でディレクターを務め、文化構想学部「アジア映画論」の講義を担当されている石坂健治先生より、本作品についてはもちろんのこと、インド映画界の実情や東京国際映画祭についてお話しいただく予定です。ぜひご参加ください。

6月23日（月） 於：26号館地下B104（多目的講義室）

日 時：6月23日（月） 16:30～19:15（開場 16:10） 対 象：早大生・教職員 事前登録：不要
定 員：80名（先着順） 参加費： 無料 言 語：日本語（映画はヒンディー語。日本語字幕あり）

プログラム：

16:15 開場
16:30-18:06 第1部：映画上映（96分）
18:15-19:15 第2部：石坂健治先生トーク
& 質疑応答（60分）
19:15 終了

※第1部または第2部のみの参加も大歓迎です。



ゲストスピーカー：石坂 健治（いしざか けんじ）

日本映画大学教授／
東京国際映画祭アジア部門ディレクター
2007年より東京国際映画祭アジア部門
ディレクターを務める。
2011年に開学した日本映画大学教授を兼任しながら、
早大文化構想学部でも「アジア映画論」を開講中。
香港国際映画祭アジア映画賞をはじめ、釜山、
ハワイ、山形などの国際映画祭で審査員を歴任。